



# 三原中だより

平成25年度 第2号

発行  
平成25年5月27日  
八丈町立三原中学校

「郷土愛に富む生徒の育成を目指して

～ 八丈語に関する学習活動の創造 ～」 校長 武田 真男

初夏の風もさわやかな頃となりましたが、保護者、地域の皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。

平成25年度がスタートして2ヶ月が過ぎようとしていますが、この間に大きな行事がありました。その中のひとつは3年生の修学旅行です。「広島原爆ドームが私たちに伝えてくれていることは何だ」、「奈良、京都の文化財が私たちに何を語ろうとしているのか」等、生徒たちが全身で感じとってくれました。また、1・2年生の遠足では、乙千代ヶ浜で野外調理活動を通して交流を深めました。2年生が大人びた姿に映ったことも新鮮な発見で、とても嬉しいことです。他にも、坂上学校連絡会では三原小学校の先生方が来校され、中学生の学習する姿を参観していただき、その後の協議会で今年度の連携教育に関して具体的に話し合われました。今月の後半には中間考査、そして、PTA総会が開催され、今年度の活動が本格的に動き出しています。

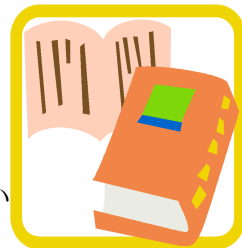
さて、本校は今年度、八丈町教育委員会より教育研究指定校を受け、八丈方言に関する学習活動を創造し、実践していくことで「郷土愛に富む生徒の育成」を目指していくこととなりました。

平成21年2月19日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が、世界で約2500の言語が消滅の危機にさらされているとの調査結果を発表しました。その中で日本に関しては、アイヌ語が「極めて深刻」、八重山語、与那国語が「重大な危険」と評価されたことを始め、八丈語は「危険」と分類されたことはご存知の方も多いと思います。その理由のひとつとして、親世代が話さない、話せないことによって、子ども世代が話せなくなってきたことが挙げられています。

そこで、八丈町においてはこれまでも、生涯学習や学校教育のなかでこの八丈方言を継承させたり普及させたりする取り組みとして、文法講座や島ことば教室、島ことばカルタ大会等を開催したり、小・中・高校生に対する八丈語に関するアンケート調査を実施したりしてきました。

このような背景を踏まえ、本校では、生徒に八丈方言が消滅の危機に面しているという現状と八丈方言の価値や言語学的な特徴に関して理解を深めさせることによって、興味・関心を高め、郷土の言葉に対する愛着や誇りを持たせてまいりたいと考えます。具体的には、「総合的な学習の時間」における高齢者や地域の方々との交流を基盤にし、各教科における八丈方言を扱った学習活動を開発したり、道徳においては、八丈方言や郷土の伝統文化に関した教材を開発したりする研究と実践を積み重ねていく計画です。

まだ先のことになりますが、平成26年2月5日（水）には、実践の報告や研究の成果を発表する会を、保護者や地域並びに島内の教職員の皆様を対象に開催したいと考えています。また、機会あるごとに生徒の学習活動の様子を公開してまいりますので、お知らせが届きましたら、お時間の許す限りご参観をお願い申し上げます。



## <修学旅行の思い出>

担任 平賀公章

3年生は修学旅行へ行くにあたり、2年生の時から事前学習を進めてきました。まず、始めに坂下地区の班別行動を行いました。班ごとにコースを決めて自分達で決めた行程を計画通りに進めるという学習をしました。次に京都・奈良の名所調べをし、平和学習として「沖縄戦」「東京大空襲」「広島原爆投下」について学習をしてきました。広島の平和記念公園で捧げる折り鶴も制作しました。折り紙に



一人一人が平和へのメッセージを記入し願いを込めながら完成させました。出発が近くなると連日しおりの読み合わせと確認が続きました。これだけ準備すれば修学旅行当日も大丈夫と思いつつも、担任としては不安が募るばかりでした。当の生徒達はというと一生に一度の中学校の修学旅行という一大イベントに目を輝かせ心は舞い上がっていました。その姿を見て、当日熱を出すのではないかと更に不安は増していきました。

出発当日、担任の不安の一つは14人全員の笑顔で解消されました。羽田空港に着いてからは班別の自由行動で自分たちの決めた行程を計画的に巡るのですが、その日の都内の気温は思った以上に寒く体調面も心配されました。慣れない場所で思わぬ寒さ、不安は尽きません。しかし、どの班もチェックポイントには時間どおりチェックを受け、宿舎にも定刻に戻ってきました。多少の疲れはあったものの食欲は旺盛で全員体調を崩すことなく1日目は終わりました。2日目は朝早く新幹線で広島へ向かいました。広島は前日より寒く、雨も降っていました。傘をさしながら平和公園の碑巡りとなりましたが雨の中に浮かぶ原爆ドームの姿は心の奥に何か訴えかけてくるものがありました。生徒達は折り鶴を捧げて、原爆資料館を見学した後、宿舎で実際に原爆を体験された原さんの講話を聞きました。原さんの講話は「これから話すことは、私が実際に目で見て体験したことです。」という言葉から始まりました。話の内容は、「本当は話すのが辛くて語り部をしたくなかった。」と言われるぐらい想像を絶する様な悲惨な話でした。ましてや、体験した当時は生徒達と同じ年頃だったそうです。目の前で大人や友達が被爆し息を引き取っていく様子は一生脳裏から離れないでしょう。原さんは自分が体験した悲惨な原爆を二度と起こしてはならない、また世界が平和になることを願って語り部さんを続けていらっしやいます。ご高齢でいつまで続けられるか分からないと本人がおっしゃっていました。講話を聞いた生徒達は、広島で聞きしたことを自分なりに考え、まとめ、他者に伝えていくことが使命だと思います。是非とも、そのような機会を設けたいと思います。

### <三原中学校の教育目標>

#### <教育目標>

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

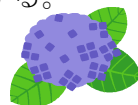
○たくましい人

○よく学ぶ人

#### <校訓>

紳士たれ・淑女たれ

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/miharachu/>



3日目は、広島から奈良へ行きました。天候にも恵まれ清々しい春の陽気でした。生徒達は初めて見る奈良の大仏や法隆寺などの歴史的建造物に心を奪われ、奈良公園では鹿にせんべいを奪われていました。生徒達はどの施設に入る時もしっかりあいさつができていて担任としては嬉しく思いました。バスガイドさんには、自分達が住んでいる八丈島はどのようなところで、八丈方言にはこんなものもあるなどと一生懸命説明している姿を見て、一人一人が八丈島代表という意識があり八丈島に誇りをもっているということを感じました。

4日目の京都では、タクシー一班行動でした。どの班も事前の計画していた所を巡ることができたようです。ドライバーさんにガイドしてもらって、様々な裏情報を聞き、楽しく歴史に触れることができたようです。大きなトラブルもなく修学旅行は終わりました。出発までは、担任として様々な不安がありましたが、そんな不安をよそに生徒達は修学旅行を通して大きく成長していきました。14人が一生の思い出に残る修学旅行になったのではないのでしょうか。4泊5日で得た貴重な体験を今後に生かし、更なる成長を期待します。

#### 《修学旅行の主な行程》

- 4/19(金) 八丈空港 → 東京班行動 → スカイツリー → 宿舎
- 4/20(土) 東京駅 → 広島駅 → 平和公園 → 宿舎
- 4/21(日) 広島駅 → 新大阪駅 → 法隆寺 → 奈良公園 → 京都 → 宿舎
- 4/22(月) 宿舎(清水焼体験) → 京都タクシー行動 → 東京駅 → 竹芝桟橋
- 4/23(火) 底土港着・解散



### <離任された先生方より>



足立区立伊興中学校 渡邊 あづさ

保護者の皆様、離任の際はご多忙にもかかわらず、空港まで出向いていただきありがとうございます。

三原中学校で過ごした5年間、本当にありがとうございました。行事のたびにご理解ご協力をいただいたこと、日頃から声をかけていただき、つかの間の立ち話も私にとっては、癒しの時間でした。どれも鮮明に思い出されるかけがいのない日々です。

さて、昨年度の鳩の火の最終号には、「これからは八丈島の観光大使(自称)として!」と載せましたが、もちろん地道に頑張っています。すっかり、電車通勤に慣れたふりをしている私ですが、八丈島の思い出が私を支えています。色々なところで、八丈島を思い出します。例えば、現在勤務している中学校の校歌は、団伊久磨さんが作曲したものでした。作曲者名をみて、一人喜んだ私です。朝、駅のホームで空を見上げながら、飛行機の発着について考え、天気予報では、これまでの習慣で八丈島を見ています。(雨雲が・・・風速が・・・と。)

生徒の皆さん、今でも、あの校庭・校舎で明るくはつらつと過ごしている姿が目に見えます。よく笑い、どんなことにも真剣に取り組んでいました。授業を始めれば活発で、試験をすれば高得点を目指し、行事には全力で向かっていましたね。いつでも前を向いて、声を掛け合う皆さんのことを思い出します。しかし離任式でも話したとおり、まだまだ力があります。中学生の力は無限大だからです。これからもいろんなことに挑戦して、自分を高める努力をしていってください。皆さんの活躍を期待しています。頑張ってくださいね!

奥多摩町立氷川中学校 河合富士夫

この度「太平洋」を渡り「多摩川」を上り、奥多摩町立氷川中学校に異動しました。三原中学校で過ごした6年間は、保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、教育活動を実践できたことを感謝しております。また、離島する際には、八丈島空港にたくさんの方々に見送りに来て頂き、「人情味あふれる島」ということを改めて感じました。

最近では、新聞やテレビなどで、八丈島のことを紹介されると懐かしい思いで拝見しています。奥多摩は東京の山間地にあり、羽田空港から2時間半位かかり、八丈島と違って今の時期でも寒い日があり、4月の中旬には付近の山肌が雪に覆われた日もありました。

赴任地でも野球部の顧問をしておりますが、部員が3名しかいないため、単独でチームが組めず、隣の学校との連合チームで大会に出場しています。また、中学校を町内で一校にする統合の動きもあり、奥多摩町でも少子化の問題は深刻です。だが、一人一人の生徒を大切にしていける雰囲気は八丈島と同様で、氷川中学校の生徒も、素直で思いやりのある生徒ばかりです。学校規模も生徒数は35名で三原中学校と同じ感じの学校で、とても安心しました。小規模校ならではの、全校生徒と密に関わることができるのが何より有り難いです。

いつか八丈島に何らかのかたちで微力かもしれませんが、恩返しできればと思います。長期休暇中など八丈島に遊びに行った際には、ぜひ声をかけて下さい。6年間ありがとうございました。



## 6月の主な行事予定

\* S C出勤日：スクールカウンセラーの出勤日

日	月	火	水	木	金	土
5/26	5・27 P連総会	5/28 生徒会総会	5/29 校内研修会	5/30	5/31	6 / 1
2	3 朝礼	4 開校記念日	5 職員会議 S C出勤日	6 歯科検診	7	8 サッカー部・ 野球部 試合
9	10 朝礼	11	12 校内研修会 心肺蘇生講習会 S C出勤日	13	14	15 サッカー部 試合
16	17 朝礼 プール清掃	18	19 職員会議 S C出勤日	20 専門委員会	21 期末考査 1週間前	22
23 30	24 朝のつどい	25	26 職員会議 S C出勤日	27	28 期末考査 定期健康診 断(終)	29

いじめに限らず、お子さまについての相談には、様々な窓口があります。

- 八丈町教育相談室 04996-2-0591
- 東京都いじめ相談ホットライン 03-5331-8288
- 東京都教育相談センター 03-3360-8008
- 東京都児童相談センター 03-3202-4152

